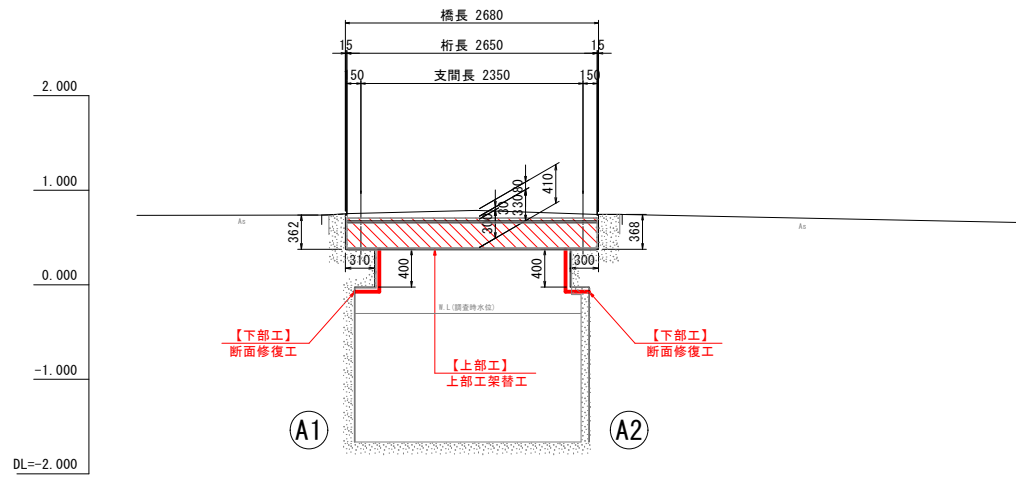


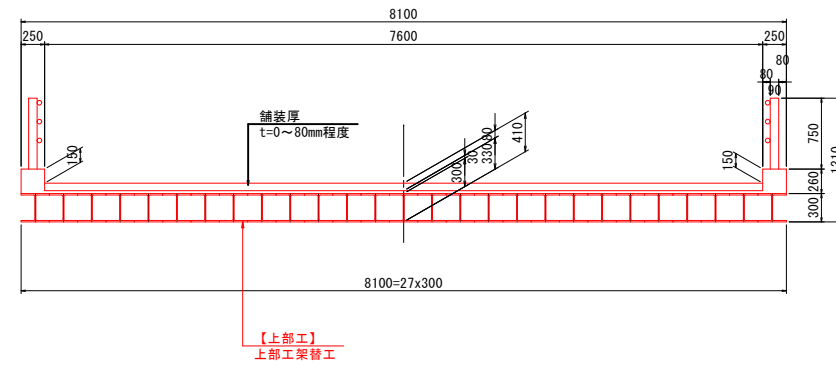
補修一般図 S=1:40

運動公園東1号線1号橋

側面図



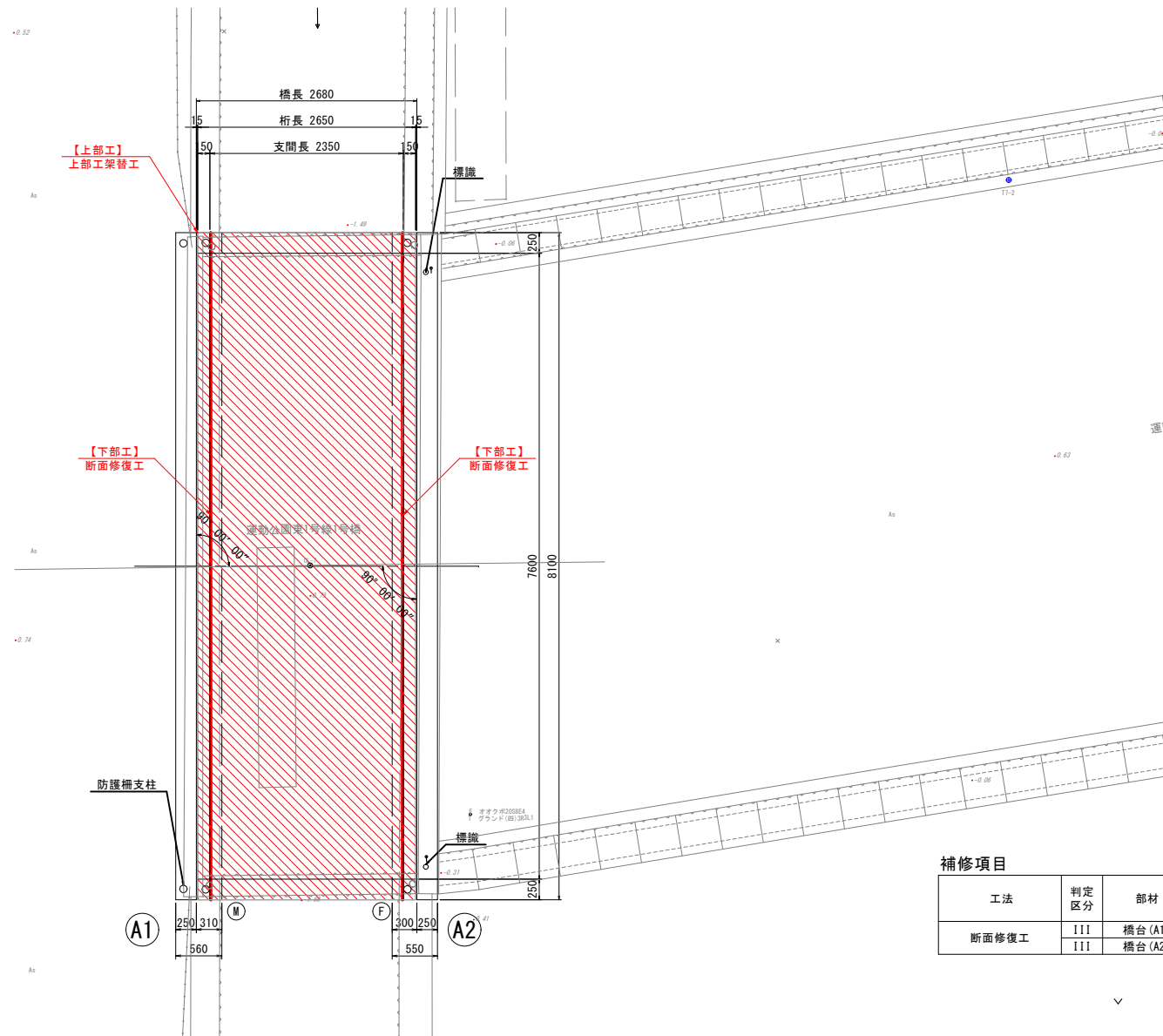
断面図



設計条件

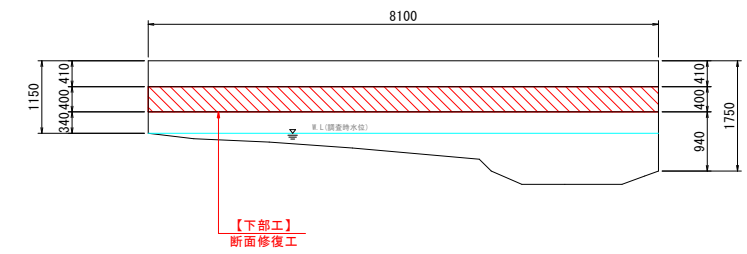
道路条件	
路線	市道運動公園東1号線
道路規格	不明
設計速度	不明
設計荷重	不明
大型車交通量	-
計画交通量	-
交差物件	水路
幾何条件	
橋名	運動公園東1号線1号橋
橋長	L=2,680m
桁長	2,650m
支間長	2,350m
総幅員	8,100m
有効幅員	7,600m
斜角	$\theta = 90^{\circ} 00' 00''$ (道路中心)
平面線形	
縦断勾配	
横断勾配	
構造形式	
上部工	H形鋼橋
舗装	アスファルト舗装 (t=0~80mm程度)
下部工	その他(橋台)
基礎工	直接基礎(想定)
支承	-

平面図

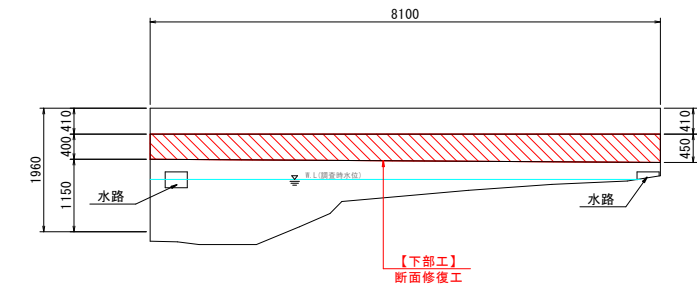


下部工 S=1:60

A1橋台



A2橋台

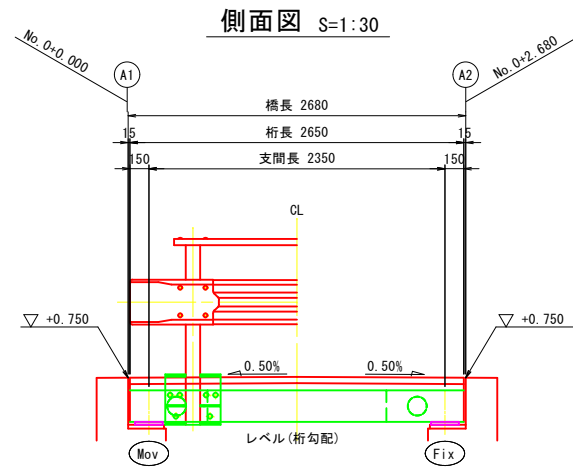


補修項目

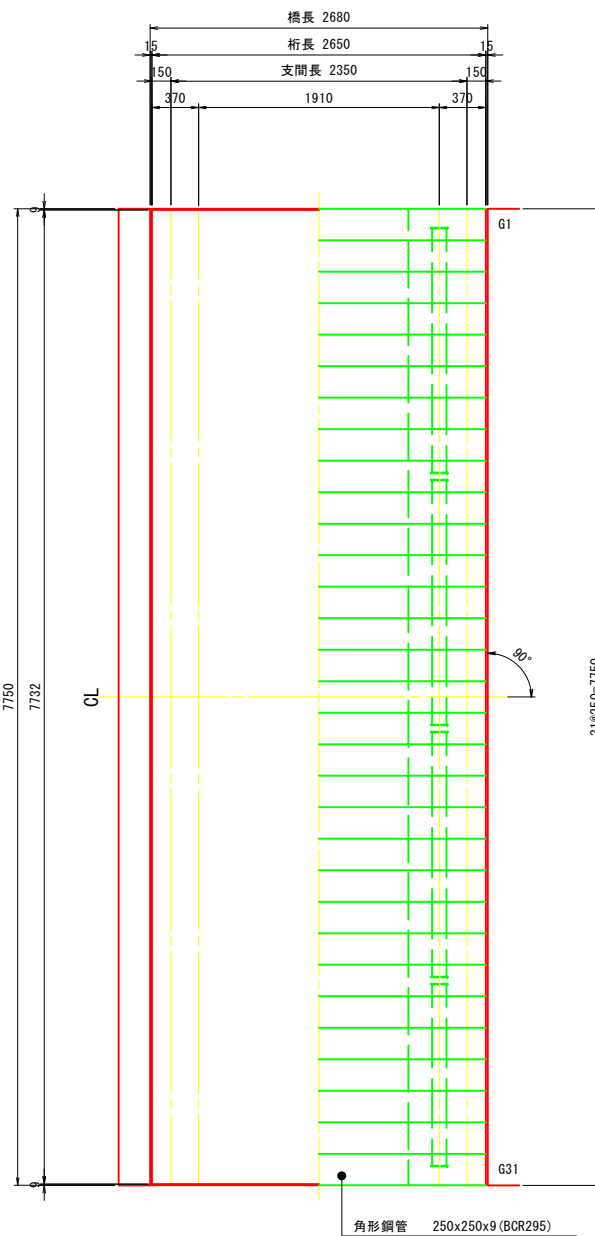
工法	判定区分	部材	規格	備考
断面修復工	III	橋台(A1)	ポリマーセメントモルタル	
	III	橋台(A2)	ポリマーセメントモルタル	

図面番号	第 1 号	図面総数	全 13 葉
工事名称	運動公園東1号線1号橋橋梁補修工事		
図名	補修一般図	縮尺(A1): 図示	
製作年月	令和8年5月	所属年度	令和8年度
係員	課長	副課長	係長 係員 設計・製図 照査
鳴門市 都市建設部 土木課			

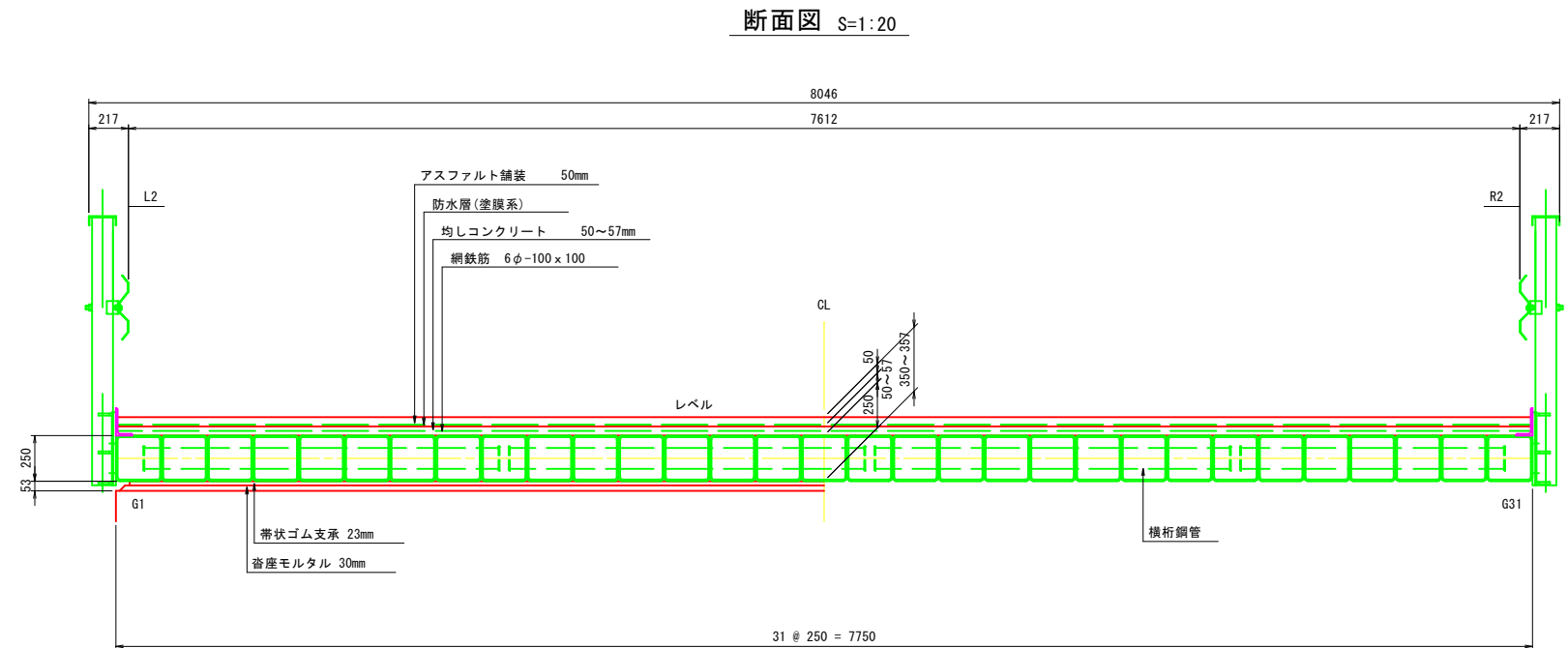
上部工構造一般図



側面図 S=1:30



平面図 S=1:30



断面図 S=1:20

※ 網鉄筋はスペーサー等を使用し、均しコンクリート厚の中央付近に配置すること。

構造高表 (支点)

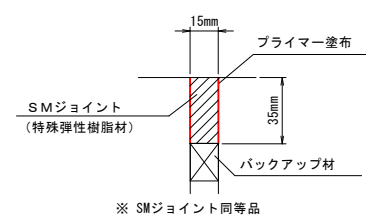
	S1			S2		
	L2	CL	R2	L2	CL	R2
路面計画高	0.751	0.751	0.751	0.751	0.751	0.751
舗装厚	0.050	0.050	0.050	0.050	0.050	0.050
均しコンクリート	0.051	0.051	0.051	0.051	0.051	0.051
桁高	0.250	0.250	0.250	0.250	0.250	0.250
帯状ゴム支承高	0.023	0.023	0.023	0.023	0.023	0.023
宍座モルタル厚	0.030	0.030	0.030	0.030	0.030	0.030
舗装上面～橋座面	0.404	0.404	0.404	0.404	0.404	0.404
橋座面高	0.347	0.347	0.347	0.347	0.347	0.347

設計条件

橋種	角太橋 (角形鋼管床版橋)
橋長	2.680 m
桁長	2.650 m
支間長	2.350 m
全幅員	8.046 m
有効幅員	7.612 m
活荷重	TL-20
雪荷重	なし
斜角	90° 00' 00"
舗装	アスファルト 50 mm
桁高	0.250 m
横断勾配	LEVEL
縦断勾配	0.5% 直線振分
適用基準	道路橋示方書 H29.11 日本道路協会 合成床版橋 設計・施工指針 (案) H10.8 合成床版橋研究会 道路橋支承便覧 H30.12 日本道路協会 鋼道路橋防食便覧 H26.3 日本道路協会 鋼構造架設計指針 土木学会編

※ 角形鋼管は普通鋼材 (C-5 塗装仕様) を使用。

橋梁用目地新設工 S=1:2



使用材料数量表 (施工幅15mm 施工厚35mm 延長45.5m)

名称	品名	数量
SMジョイント I 型	SMシール材 (特殊弾性樹脂材)	9.0 L
プライマー	1液ウレタン系プライマー	163 mL
バックアップ材	バックアップ材	15.5 m

延長 7750 x 2 = 15500 = 45.5 m

工程表

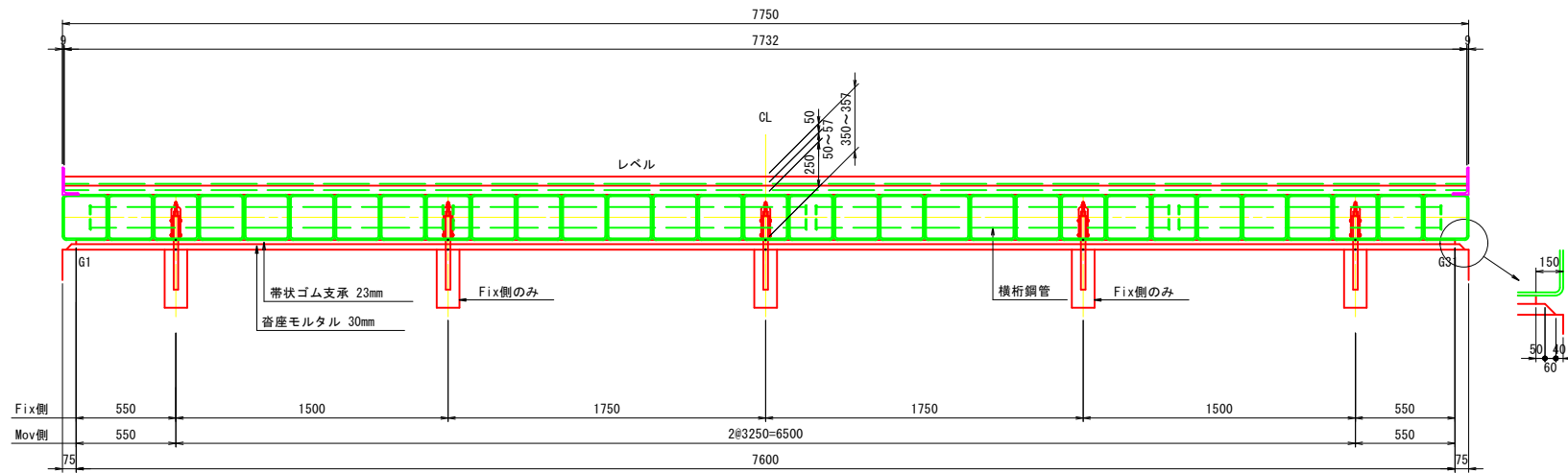
工程順	工程	使用材料	用途・備考
1	下地清掃処理	簡易清掃、高圧水洗浄 ブラシ (乾・湿)	下地清掃方法選択 養生テープ、シート養生実施
2	プライマー塗布	SMプライマー	原液塗布 (塗布量100~200ml/m ²)
3	目地間隙等、 すきま箇所の処理	バックアップ材、スポンジ等	間隙、重ね等のすきま箇所については必要 に応じて、スポンジを用いて予め処理する。
4	SMシール材充填	主剤、硬化剤、添加剤	材料は残らないように十分に混ぜ合わせる。
5	養生テープはずし	養生テープ、シート養生	シール材塗布面に養生材料が付着しないよ うに、慎重に外すこと。
6	表面保護	石粉または石灰	材料の充填約1時間後に、表面に散布する。

図面番号	第 2 号	図面総数	全 13 葉
工事名称	運動公園東1号線1号橋橋梁補修工事		
図名	上部工構造一般図	縮尺 (A1) :	図示
製作年月	令和8年5月	所属年度	令和8年度
係員	課長	副課長	係長 係員 設計・製図 照査
鳴門市 都市建設部 土木課			

支承詳細図(その1)

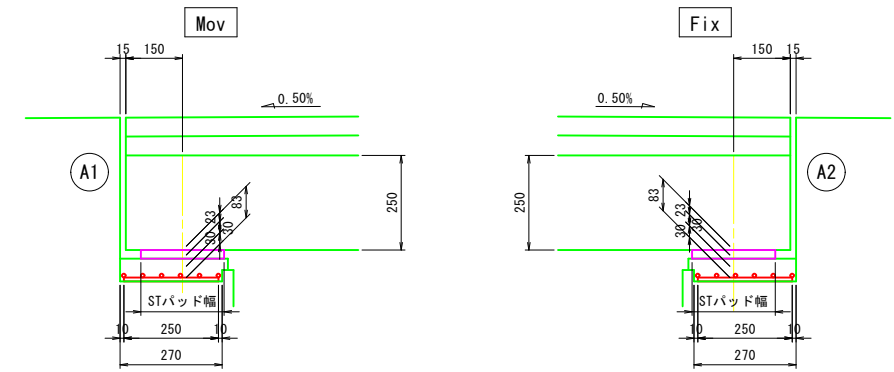
支承拘束構造

断面図 S=1:20



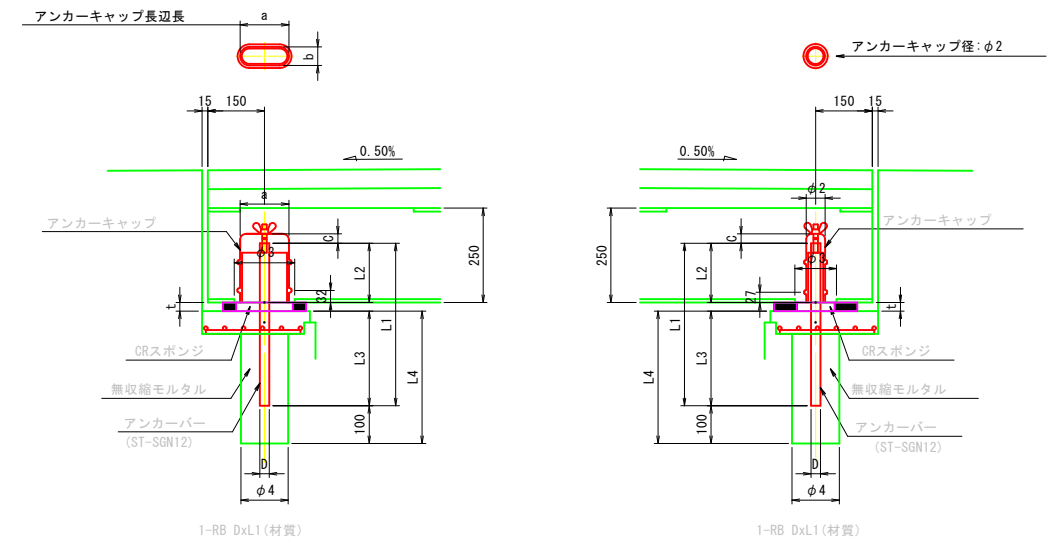
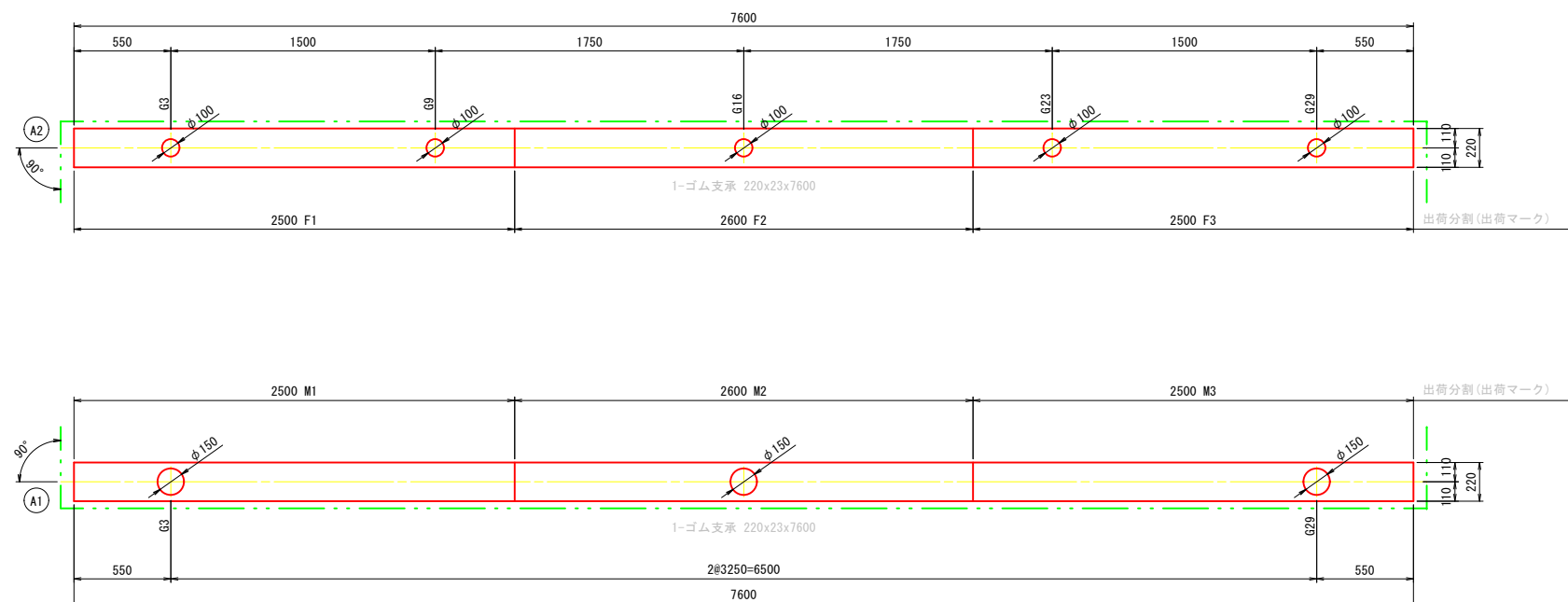
側面図 S=1:10

(支承部)



(アンカー部)

ゴム支承 S=1:20



アンカーキャップ S=1:5

(支承拘束構造)



注) 支承詳細図(その2)も参照のこと。

Mov側 (A1)

No.	支保拘束構造	規格	材質	アンカーボルト				CRスポンジ	アンカーキャップ				帯状ゴム支承 (STパッド)			角形鋼管	箱抜き径 φ4	箱抜き深さ L4	
				径: D	L1	上部工埋入長 L2	下部工埋入長 L3		重量 (Kg)	径: φ1	径: φ2	長辺長: a	径: b	余裕: C	長さ				製品幅
63	支保拘束構造	M25D	S35CN	25	430	157	250	1.657	150	129	49	25	182	220	23	150	160	125	380
616	支保拘束構造	M25D	S35CN	25	430	157	250	1.657	150	129	49	25	182	220	23	150	160	125	380
629	支保拘束構造	M25D	S35CN	25	430	157	250	1.657	150	129	49	25	182	220	23	150	160	125	380

※上部工埋入長: ゴム支承上面よりの長さ

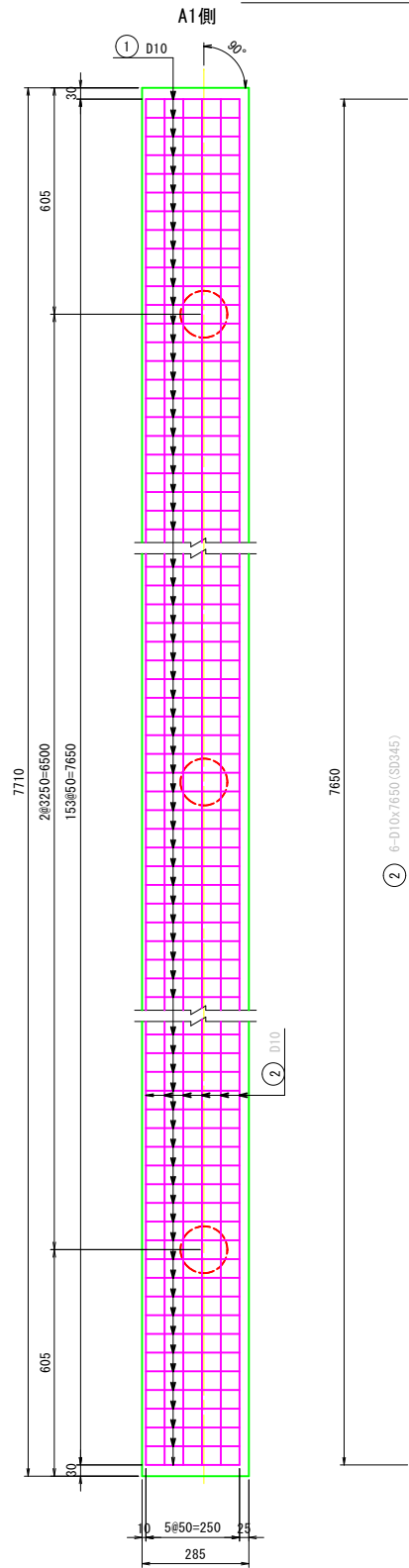
Fix側 (A2)

No.	支保拘束構造	規格	材質	アンカーボルト				CRスポンジ	アンカーキャップ				帯状ゴム支承 (STパッド)			角形鋼管	箱抜き径 φ4	箱抜き深さ L4		
				径: D	L1	上部工埋入長 L2	下部工埋入長 L3		重量 (Kg)	径: φ1	径: φ2	長辺長: a	径: b	余裕: C	長さ				製品幅	厚さ t
63	支保拘束構造	F25D	S35CN	25	430	157	250	1.657	100	50	129	49	25	182	220	23	100	110	125	380
69	支保拘束構造	F25D	S35CN	25	430	157	250	1.657	100	50	129	49	25	182	220	23	100	110	125	380
616	支保拘束構造	F25D	S35CN	25	430	157	250	1.657	100	50	129	49	25	182	220	23	100	110	125	380
623	支保拘束構造	F25D	S35CN	25	430	157	250	1.657	100	50	129	49	25	182	220	23	100	110	125	380
629	支保拘束構造	F25D	S35CN	25	430	157	250	1.657	100	50	129	49	25	182	220	23	100	110	125	380

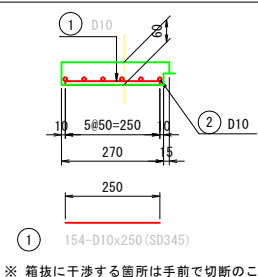
※上部工埋入長: ゴム支承上面よりの長さ

図面番号	第 3 号	図面総数	全 13 葉
工事名称	運動公園東1号線1号橋橋梁補修工事		
図名	支承詳細図(その1)	縮尺(A1):	図示
製作年月	令和8年5月	所属年度	令和8年度
係員	課長	副課長	係長
	係員	設計・製図	照査
鳴門市 都市建設部 土木課			

沓座モルタル補強配筋図 S=1:10
(現地施工範囲)



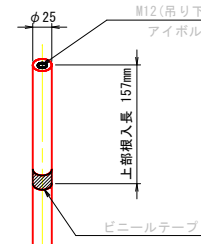
沓座詳細図 S=1:10



※ 箱抜に干渉する箇所は手前で切断のこと

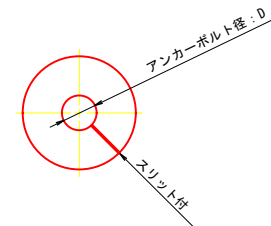
支承詳細図(その2)

アンカーマーキング S=1:5



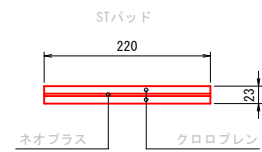
※アンカーボルト全数について、上部根入長部分に
上図に従いビニールテープ(19mm幅以上)の下端を
合わせて巻き付け出荷するものとする。

CRスポンジ S=1:5

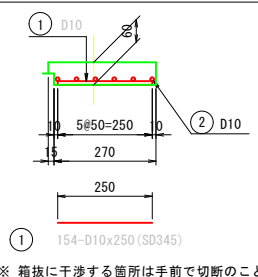


※ 無収縮モルタル打設後、速やかに
ゴム支承穴位置にセットのこと。

ゴム支承 S=1:5



沓座詳細図 S=1:10

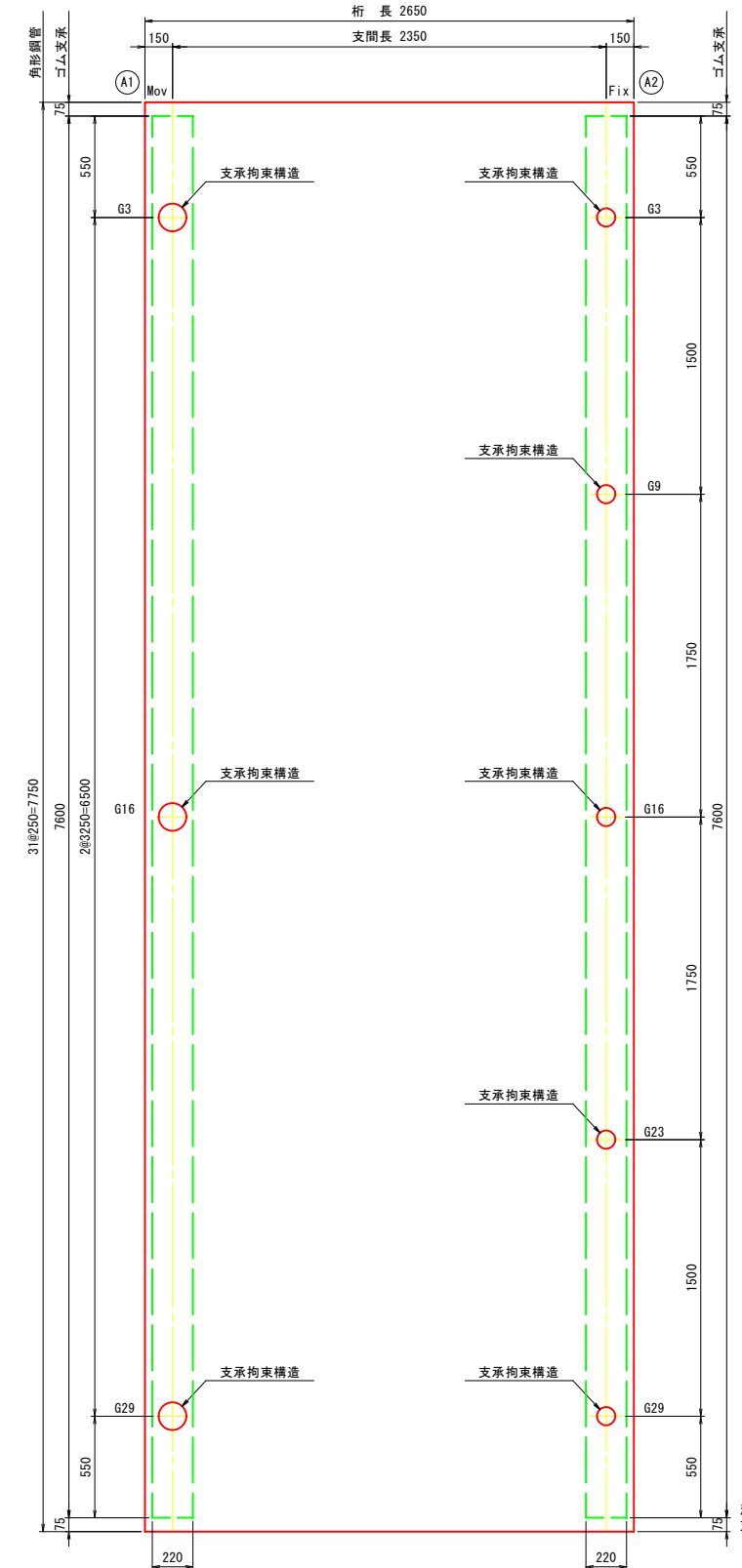


※ 箱抜に干渉する箇所は手前で切断のこと

鉄筋表

符号	径	長さ	本数	単位質量	1本当り質量	質量	形状	材質
①	D10	250	154	0.560	0.140	22	—	SD345
②	φ	7650	6	φ	4.284	26	—	φ
						Σ =	48	kg
						2Σ =	96	kg

配置図

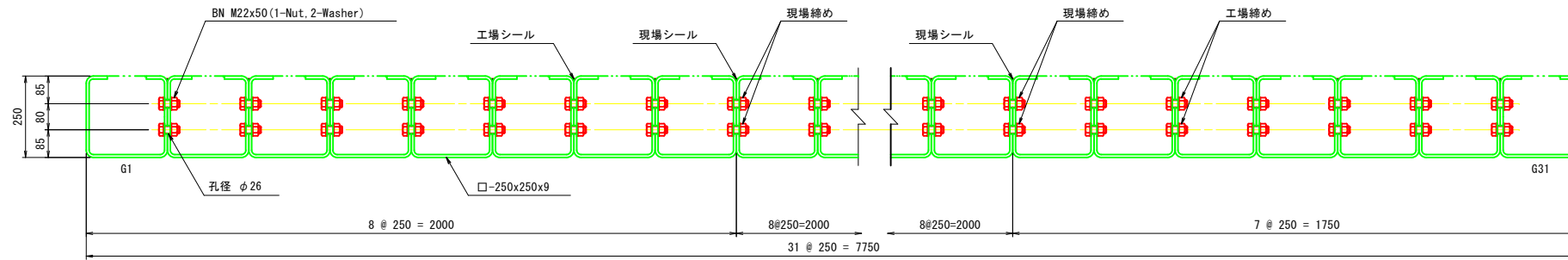


注) 支承詳細図(その1)も参照のこと。

図面番号	第 4 号	図面総数	全 13 葉
工事名称	運動公園東1号線1号橋橋梁補修工事		
図名	支承詳細図(その2)	縮尺(A1):	図示
製作年月	令和8年5月	所属年度	令和8年度
係員	課長	副課長	係長 係員 設計・製図 照査
鳴門市 都市建設部 土木課			

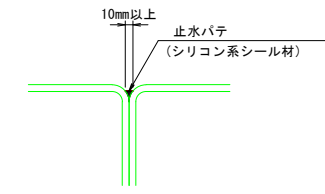
パネル詳細図(その2) S=1:10

横つなぎ詳細図



【横桁部コンクリートは全て現場打ちとする。】
 【角形鋼管は7本及び8本を工場にてボルト締めし輸送及び架設のこと。】

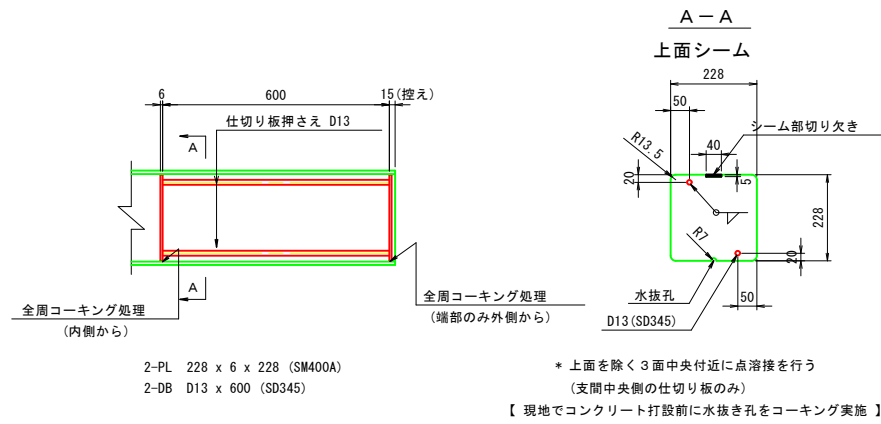
目地シール S=1:5



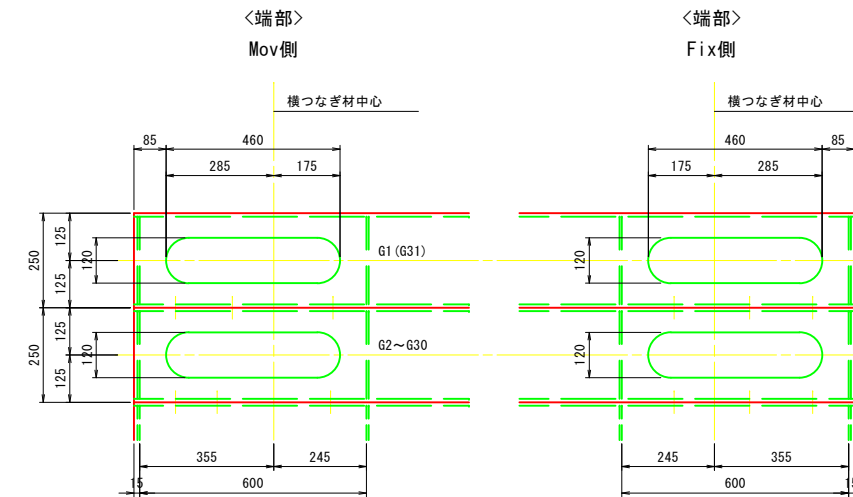
【パネル部は工場で、パネル間は
現地で桁上面目地にシール施工】
※十分に清掃後、施工のこと

端部仕切り板

Fix側 (G1, G2, G4~G8, G10~G15, G17~G22, G24~G28, G30, G31桁)
 Mov側 (G1~G31桁)

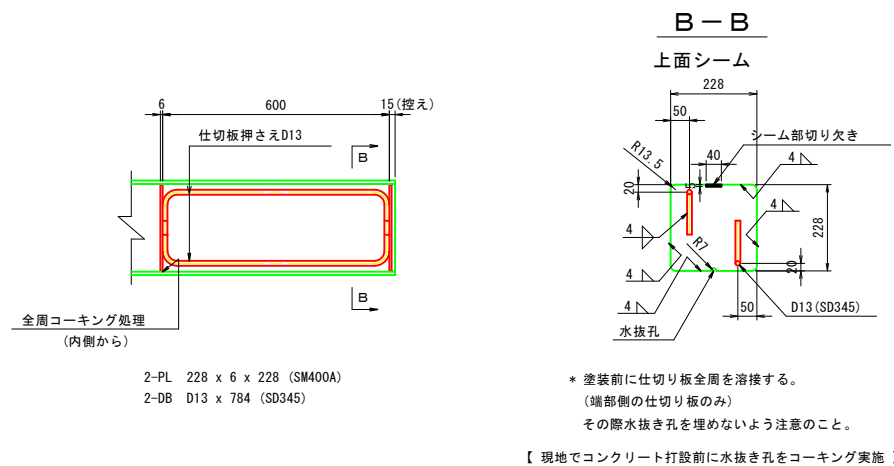


コンクリート打設用長孔

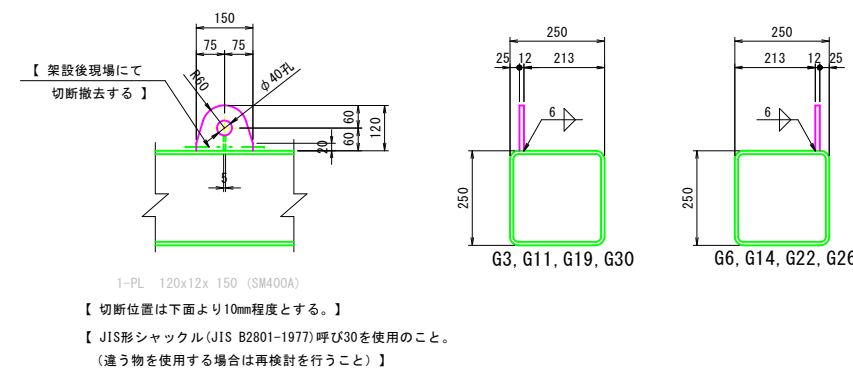


端部仕切り板

Fix側 (G3, G9, G16, G23, G29桁)

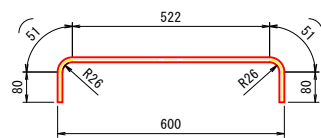


架設用吊り金具



注) パネル詳細図(その1, 3)も参照のこと。

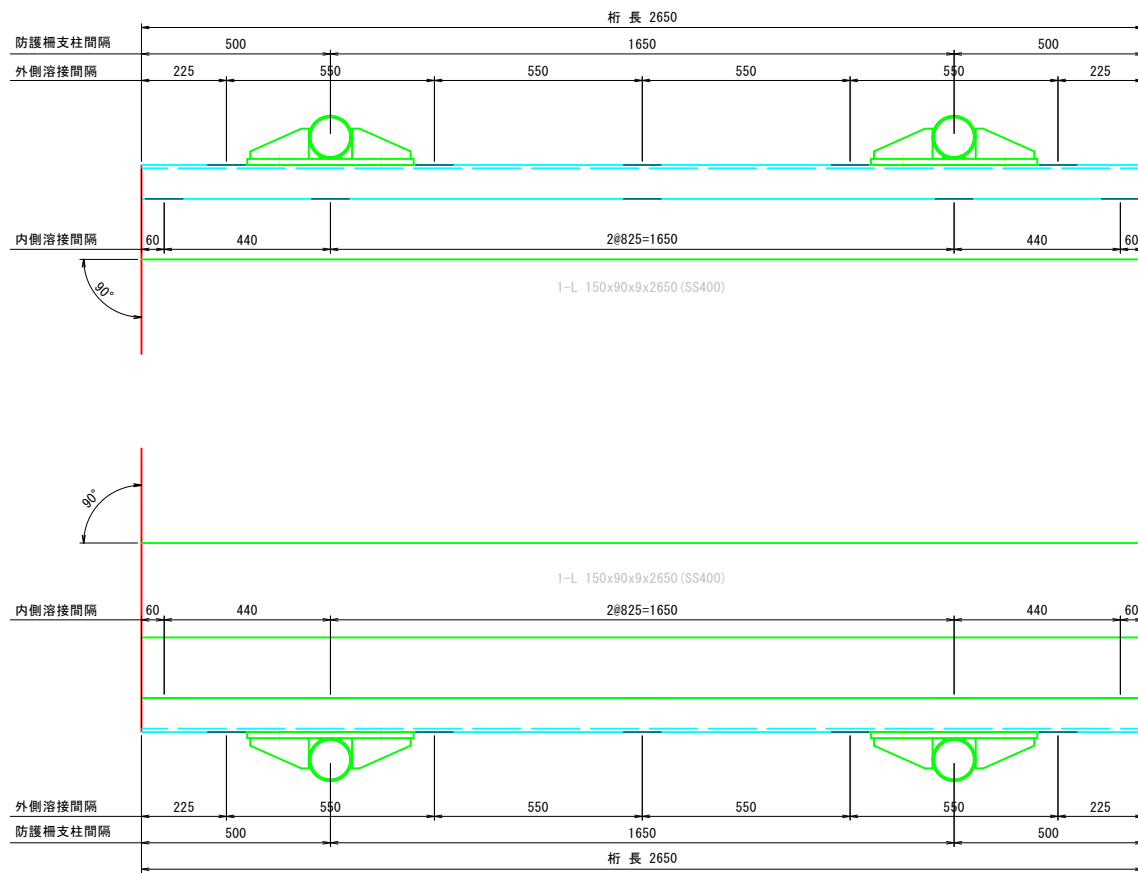
連結鉄筋加工図



図面番号	第 6 号	図面総数	全 13 葉
工事名称	運動公園東1号線1号橋橋梁補修工事		
図名	パネル詳細図(その2)	縮尺 (A1) :	図示
製作年月	令和8年5月	所属年度	令和8年度
係員	課長	副課長	係長 係員 設計・製図 照査
鳴門市 都市建設部 土木課			

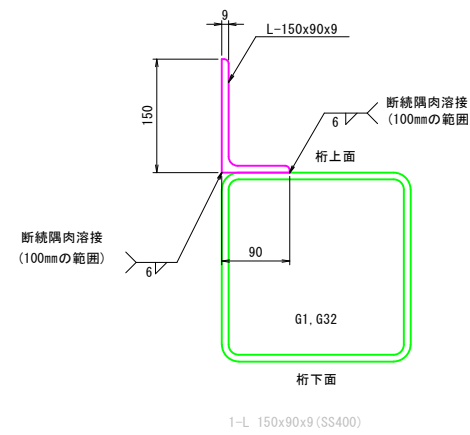
パネル詳細図(その3)

舗装止め詳細図 S=1:10

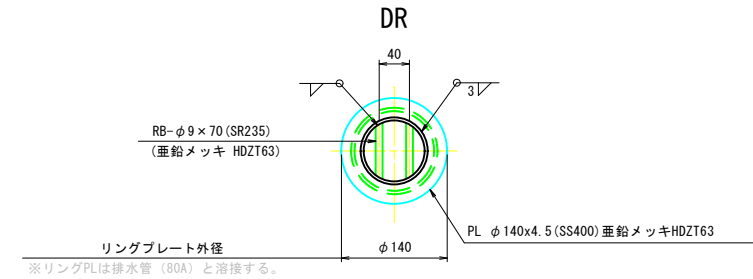


舗装止め取付図 S=1:5

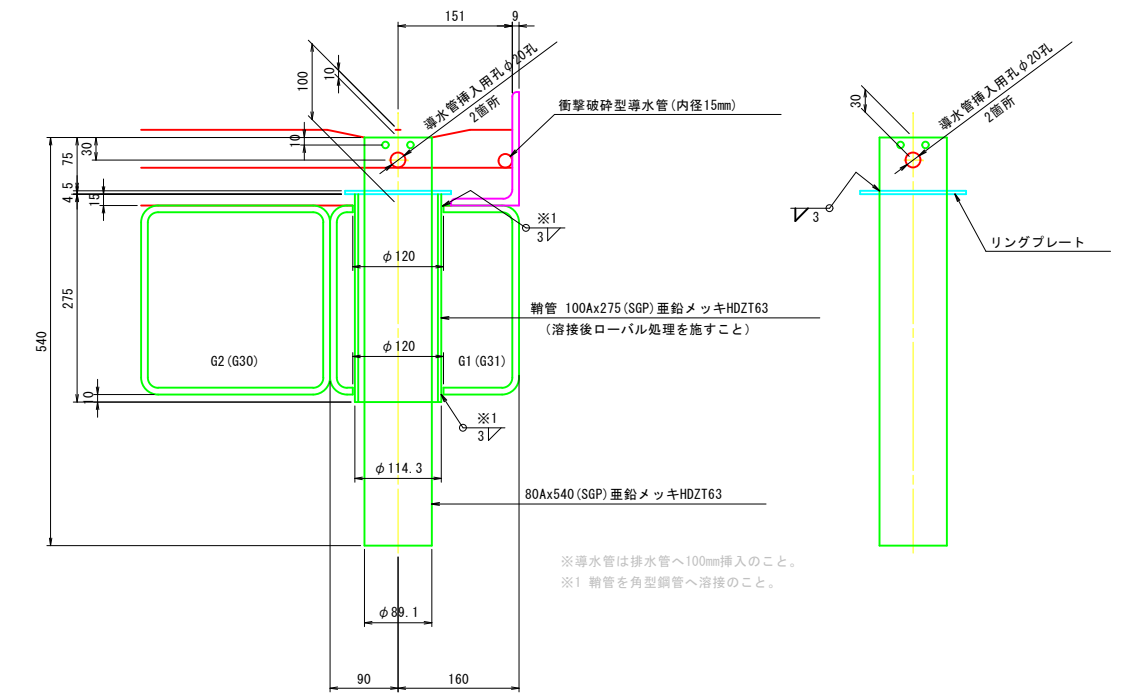
※非溶接部はシール処理のこと(内側のみ)



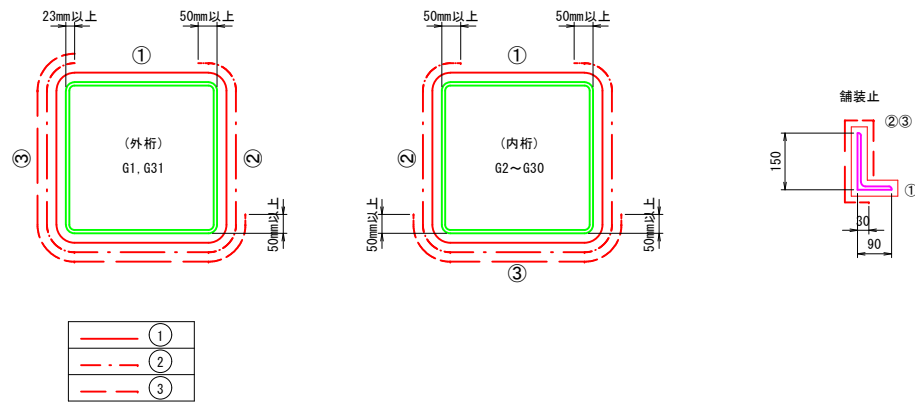
路面排水管 S=1:5 (防水層水抜管兼用)



排水管詳細図

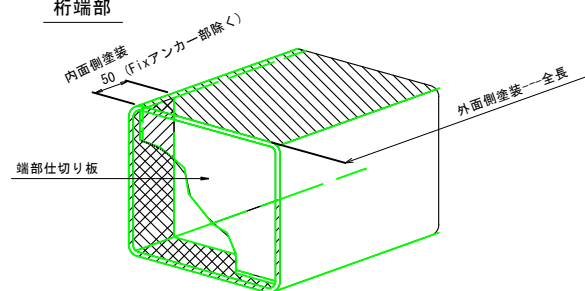


塗装区分

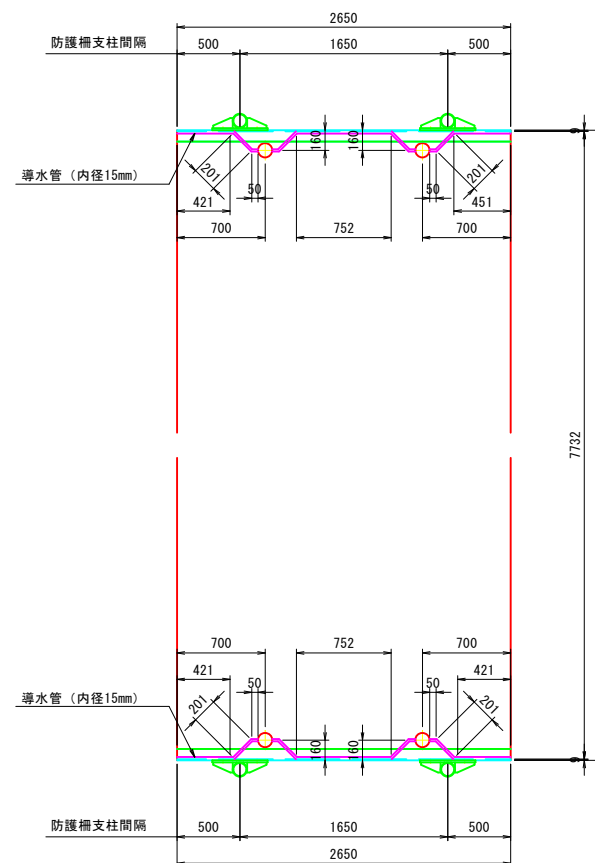


塗装範囲

桁端部

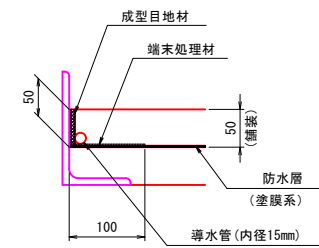


配置図

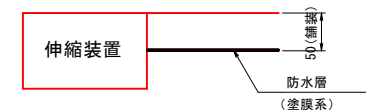


目地工詳細図 S=1:5

幅員端部断面



伸縮部断面



※舗装を痛めるため導水管は設置しないこと。
注) パネル詳細図(その1,2)も参照のこと。

C-5 塗装仕様				備考
①	素地調整	プラスト処理 ISO Se2 1/2		
②	防食下地	無機ジンクリッチペイント	75μ	
③	ミストコート	エポキシ樹脂塗料 下塗		
	下塗	エポキシ樹脂塗料 下塗	120μ	
	中塗	フッ素樹脂塗料用 中塗	30μ	
	上塗	フッ素樹脂塗料 上塗	25μ	

導水管 (内径15mm)
 $L = 0.812 \times 2 + 0.421 \times 4 + 0.201 \times 8 + 0.050 \times 8 + 0.100 \times 8 = 6.12 \text{ m}$
 防水層面積 (重ね代分は考慮しない)
 $A = 2.650 \times 7.732 = 20.49 \text{ m}^2$
 成型目地材・端処理材
 $L = 2.650 \times 2 = 5.30 \text{ m}$

図面番号	第 7 号	図面総数	全 13 葉
工事名称	運動公園東1号線1号橋橋梁補修工事		
図名	パネル詳細図(その3)		縮尺(A1): 図示
製作年月	令和8年5月	所属年度	令和8年度
係員	課長	副課長	係長 係員 設計・製図 照査
鳴門市 都市建設部 土木課			

ガードレール詳細図

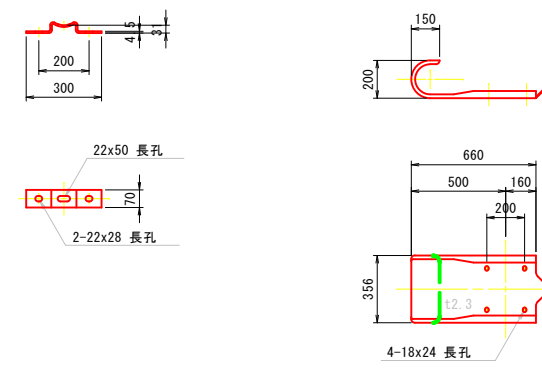
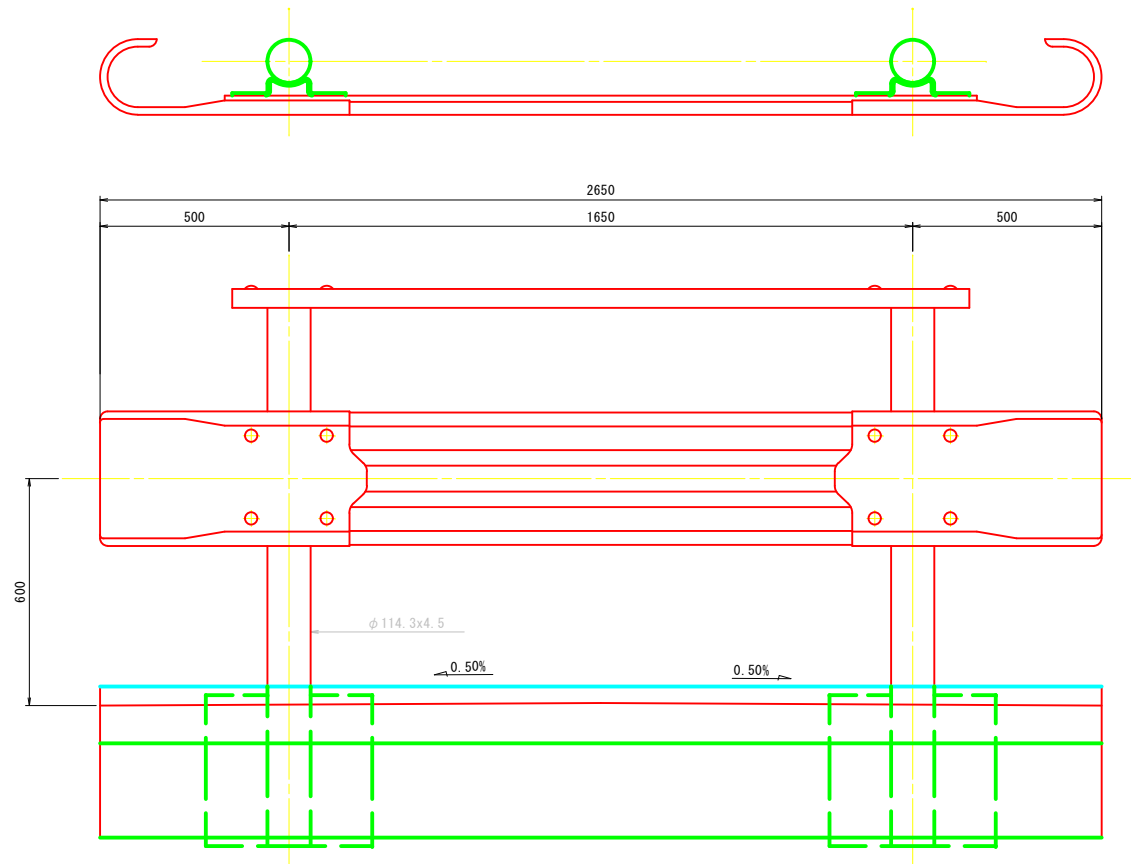
Gr-C-2B(トク)

ブラケット S=1:15

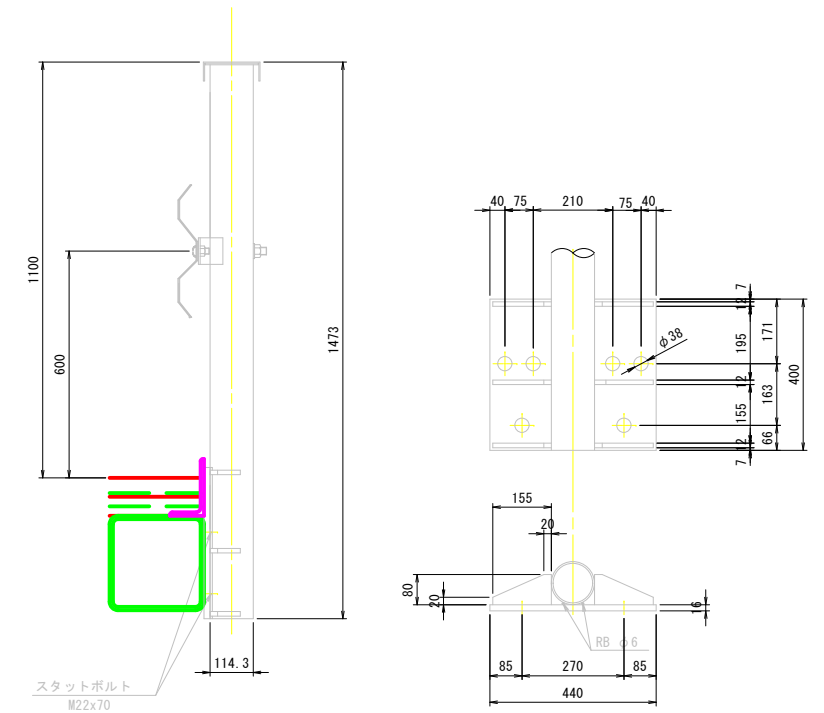
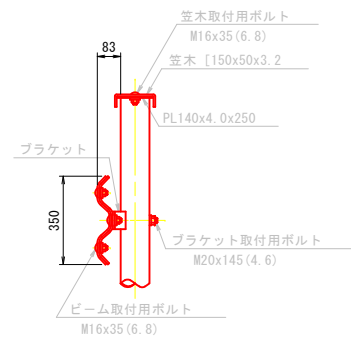
巻袖ビーム S=1:20

断面図 S=1:10

組立図 S=1:10

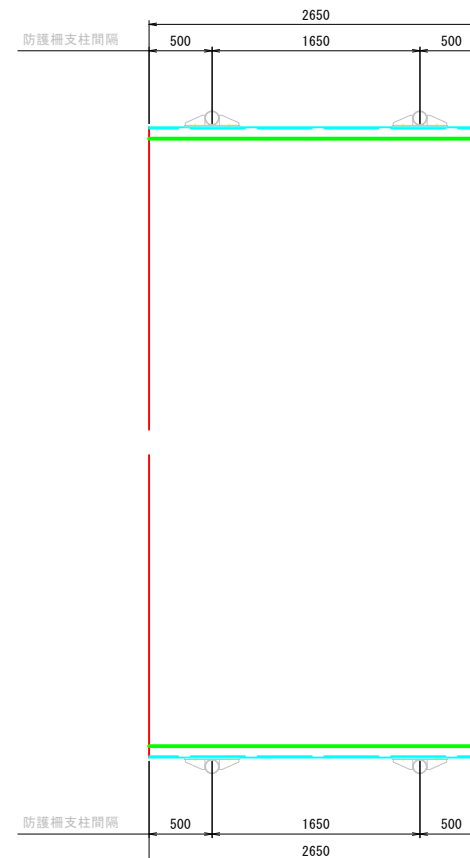


取付詳細図 S=1:15

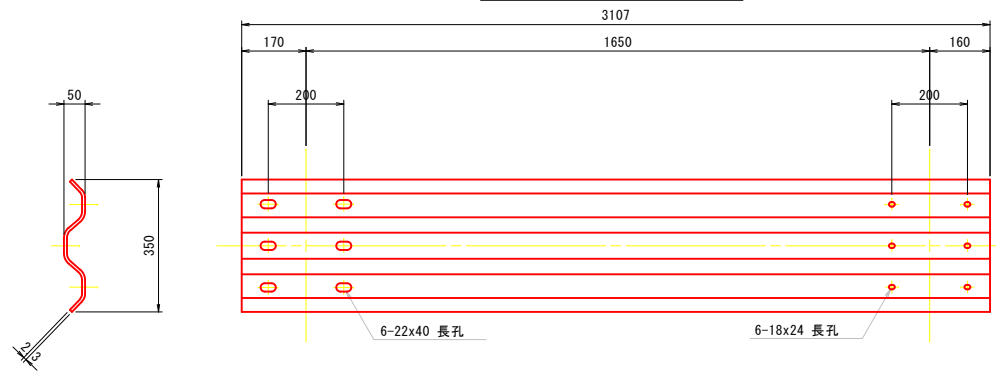


6-PL 80x12x 155 (SM400A) 亜鉛メッキ(HDZT77)
 1-PL 400x16x 440 (SM400A) 亜鉛メッキ(HDZT77)
 6-SBN M22x70(SS400相当)亜鉛メッキ(HDZT49)→主桁にて計上
 (1-HLRナット, 1-産金付)
 1-M24用産金 $\phi 44 \times 4.5$ (SS400)亜鉛めっき(HDZT63)→主桁にて計上
 2-RB $\phi 6 \times 400$ (SR235) 亜鉛メッキ(HDZT49)
 ※スタッドボルト溶接後、ローバル処理のこと。

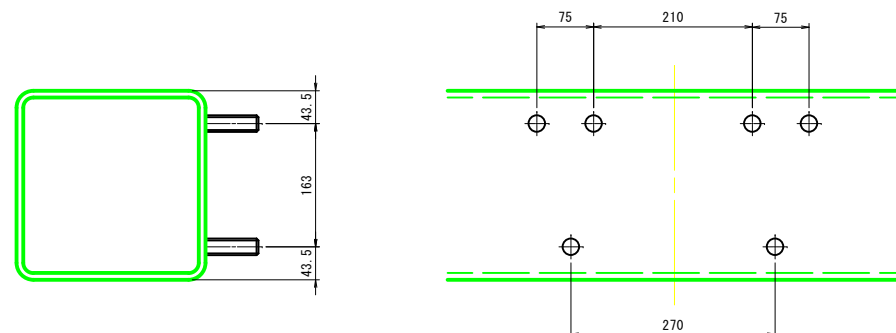
配置図



ビーム S=1:10



防護柵支柱取付用スタッド詳細図 S=1:5



図面番号	第 8 号	図面総数	全 13 葉
工事名称	運動公園東1号線1号橋橋梁補修工事		
図名	ガードレール詳細図	縮尺(A1):	図示
製作年月	令和8年5月	所属年度	令和8年度
係員	課長	副課長	係長
	係員	設計・製図	照査

鳴門市 都市建設部 土木課

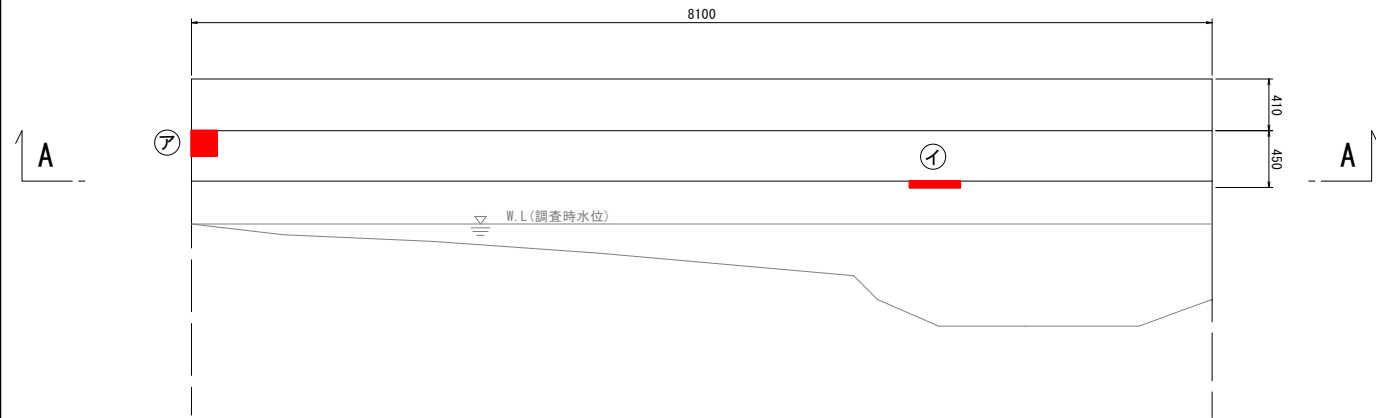
補修詳細図(その1) S=1:30

運動公園東1号線1号橋

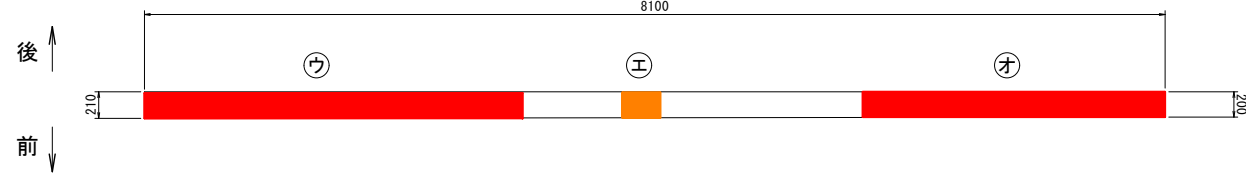
断面修復工

断面修復工詳細図

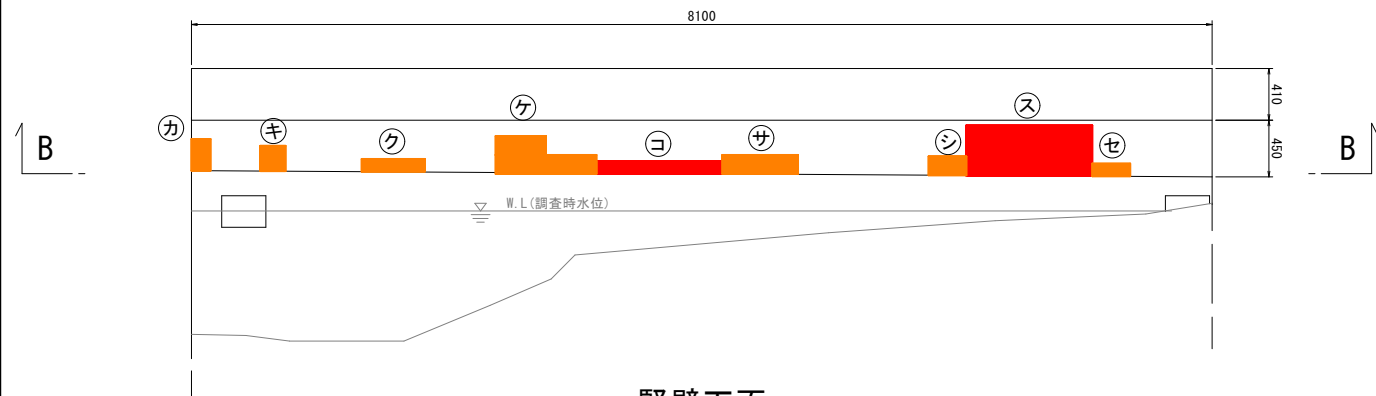
A1橋台



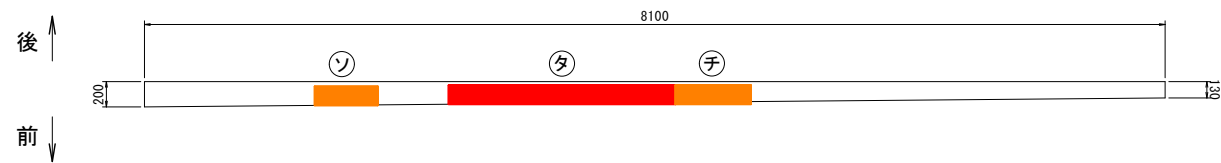
縦壁下面 (A-A)



A2橋台



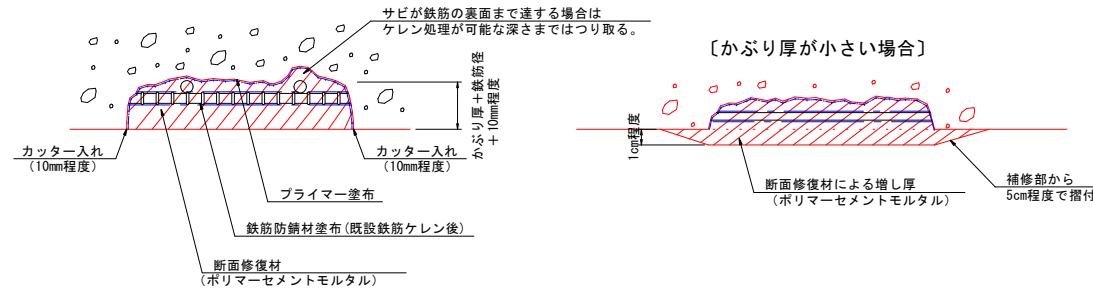
縦壁下面 (B-B)



凡例	
うき	
剥離	
鉄筋露出	

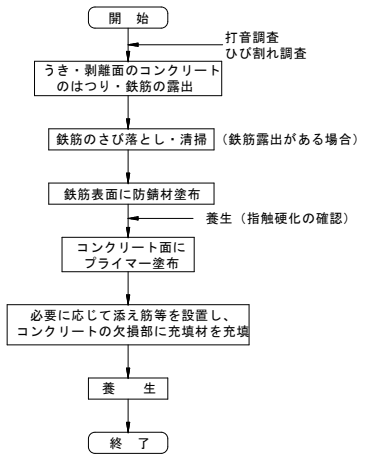
凡例

ア～:断面修復工法



- ※ 使用する材料の仕様に基づいて施工すること。
- ※ 補修部縁端は、フェーザエッジが生じないようにカッターで切れ込みを入れること。
- ※ 鉄筋のかぶり厚が薄い場合は、ポリマーセメントモルタルで10mm以上は確保するように盛ってすり付ける形で断面修復を行うこと。施工時の番線等の残骸は可能な限り除去して断面修復すること。
- ※ はつり深さは適宜調整するものとし、脆弱部は完全に除去して充填を行うこと。
- ※ 鉄筋がある場合は、既設鉄筋の背面、既設部材の粗骨材寸法程度まで除去する。(10～20mm程度)
- ※ 互砥部で粗骨材が露出している部分においては脆弱部ははつり取り、健全部を露出してポリマーセメントモルタル等を塗布や充填して復旧すること。
- ※ はつりを行い、鉄筋が確認された場合は錆を除去した後、鉄筋防錆材を塗布すること。

〔断面修復工法の施工要領〕



断面修復面積(左官工法)

部材	No.	種別	幅 W [mm]	延長 L [mm]	深さ t [mm]	面積 A [m ²]	体積 V [m ³]
縦壁0101	ア	鉄筋露出	200	200	100	0.0400	0.0040
縦壁0101	イ	鉄筋露出	50	400	100	0.0200	0.0020
縦壁0101	ウ	鉄筋露出	200	3000	100	0.6000	0.0600
縦壁0101	エ	うき	200	300	100	0.0600	0.0060
縦壁0101	オ	鉄筋露出	200	2400	100	0.4800	0.0480

断面修復面積(左官工法)

部材	No.	種別	幅 W [mm]	延長 L [mm]	深さ t [mm]	面積 A [m ²]	体積 V [m ³]
縦壁0102	カ	うき	150	250	50	0.0375	0.0019
縦壁0102	キ	うき	200	200	50	0.0400	0.0020
縦壁0102	ク	うき	100	500	50	0.0500	0.0025
縦壁0102	ケ	うき	300	800	50	0.2400	0.0120
縦壁0102	コ	鉄筋露出	100	1000	50	0.1000	0.0050
縦壁0102	サ	うき	150	600	50	0.0900	0.0045
縦壁0102	シ	うき	150	300	50	0.0450	0.0023
縦壁0102	ス	鉄筋露出	400	1000	50	0.4000	0.0200
縦壁0102	セ	うき	100	300	50	0.0300	0.0015
縦壁0102	ソ	うき	150	500	50	0.0750	0.0038
縦壁0102	タ	鉄筋露出	150	1800	50	0.2700	0.0135
縦壁0102	チ	うき	150	600	50	0.0900	0.0045

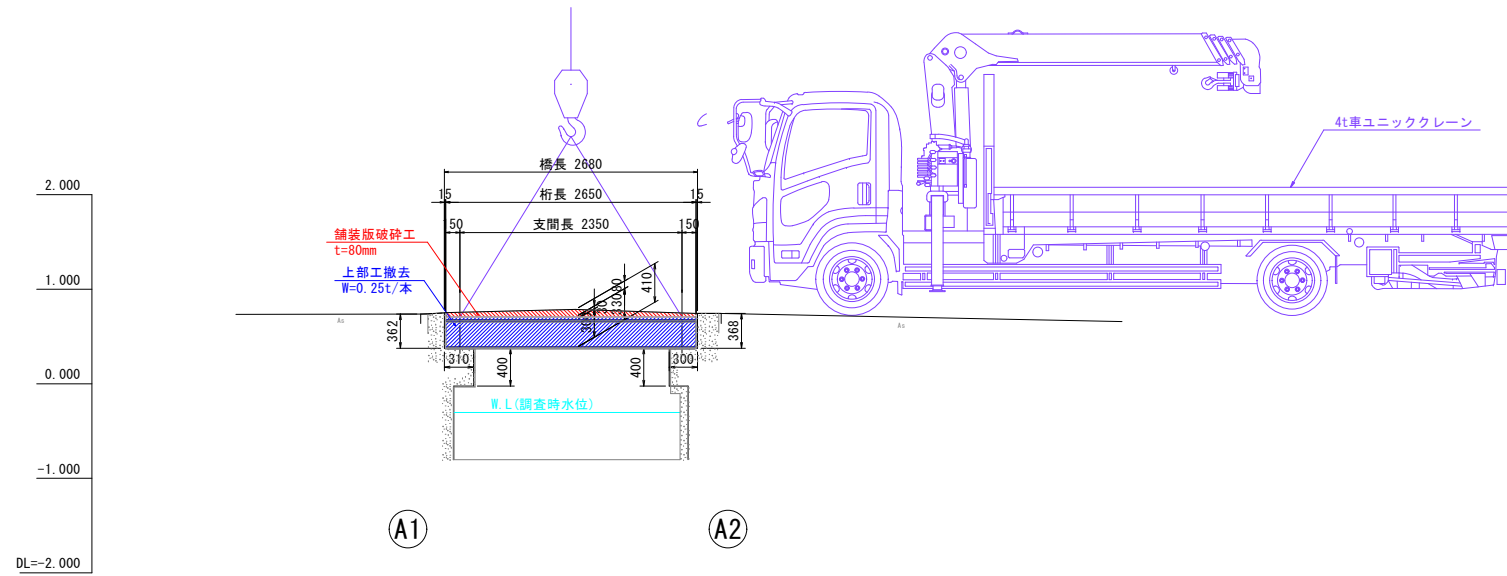
注) 現地実測の上、数量を確定すること。
注) 内部鋼材の腐食により断面欠損が発生している箇所については断面性能回復を目的として、適宜、添え筋を行うこと。

図面番号	第 9 号	図面総数	全 13 葉
工事名称	運動公園東1号線1号橋橋梁補修工事		
図名	補修詳細図(その1)	縮尺(A1)	図示
製作年月	令和8年5月	所属年度	令和8年度
係員	課長	副課長	係長 係員 設計・製図 照査

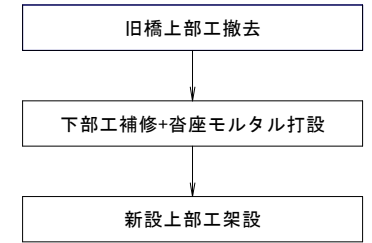
施工要領図(その1) S=1:40

運動公園東1号線1号橋

側面図

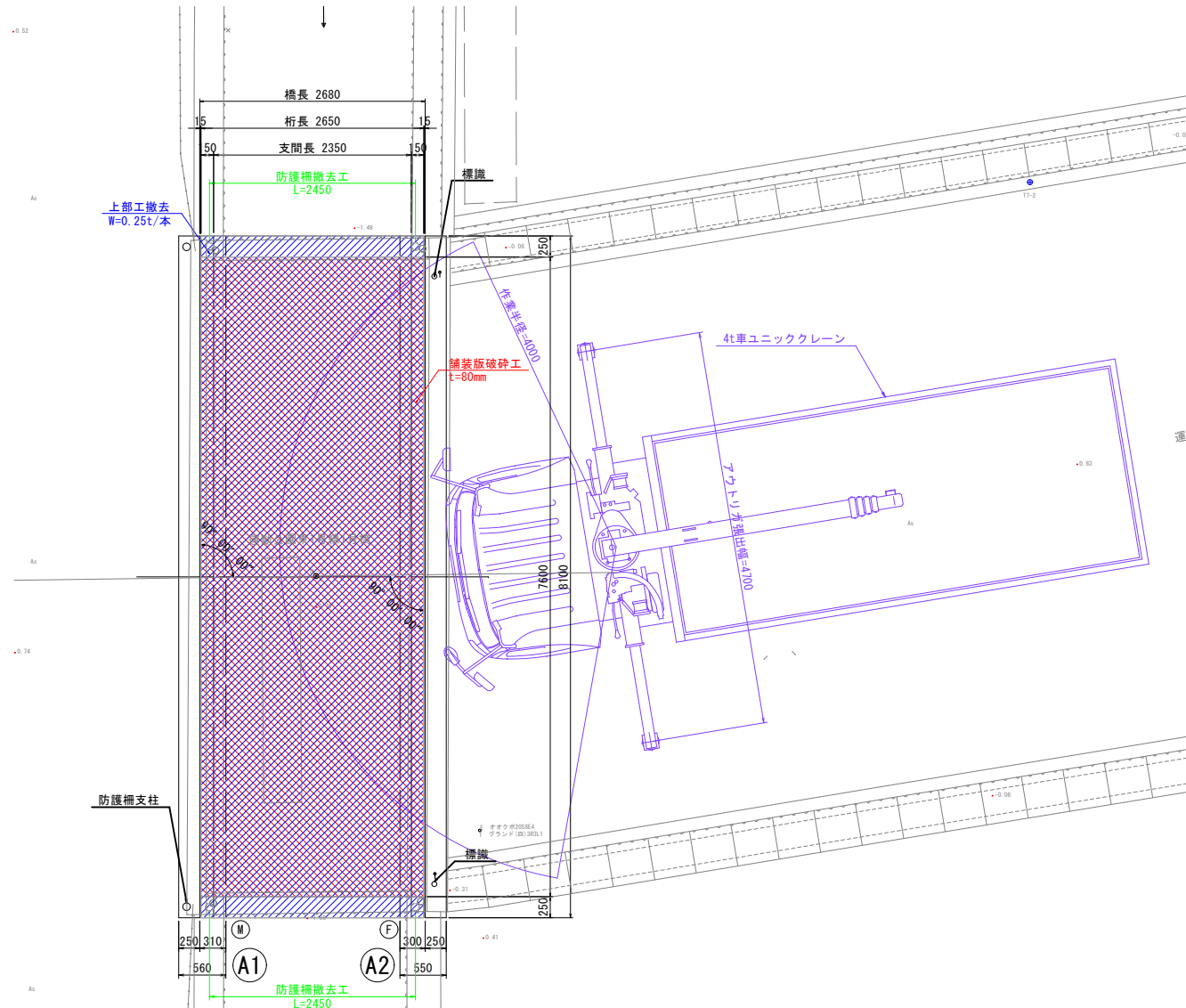


全体施工フロー



ユニッククレーン機種の決定
 桁の重量 0.25t/本 最大重量
 作業半径 R=4.0m
 架設位置 A2側 橋台背面より施工
 アウトリガ4.7m張出
 ブーム長さ 5.25m
 吊り具重量 0.03t
 $W=0.25+0.03=0.28t/組 < Ra=1.88t$ (吊能力)

平面図



4t車ユニッククレーン

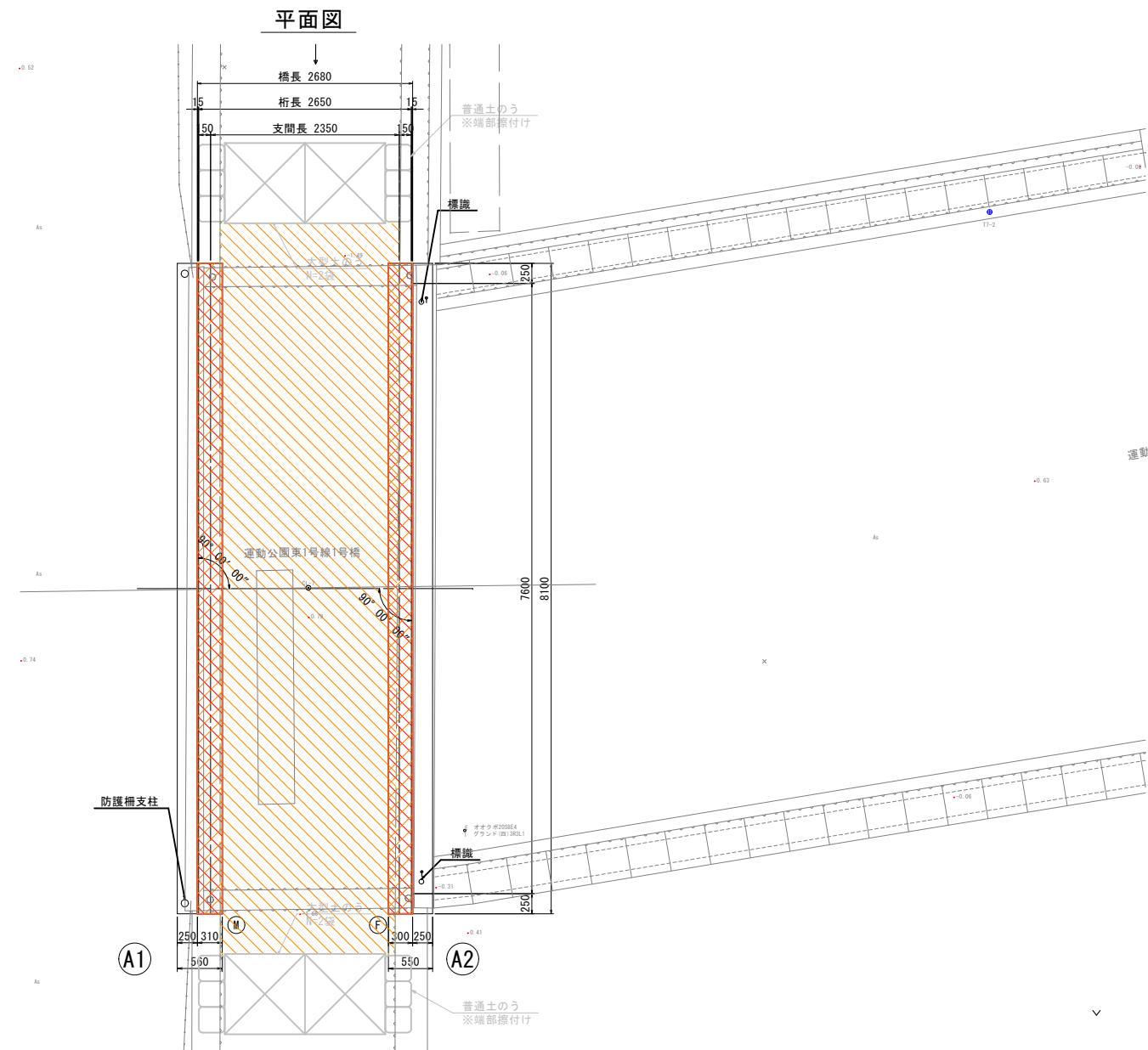
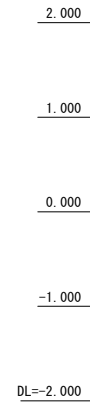
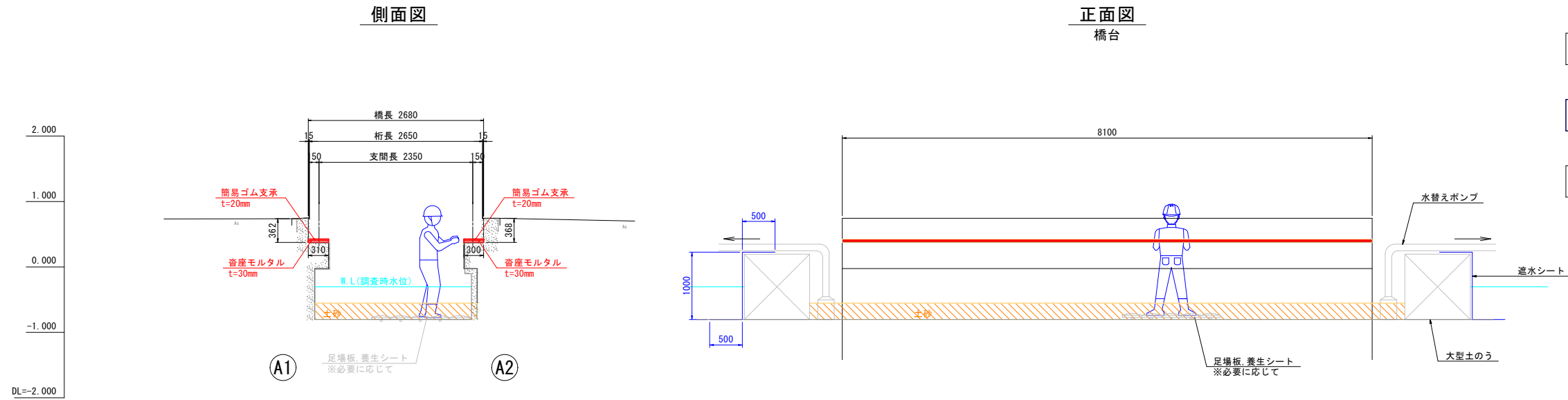
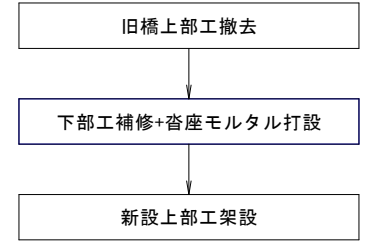
作業半径(m)	2.0	2.2	2.4	2.6	2.7	3.0	3.5	4.0	4.5	5.0	5.36
空車時	2.93	2.93	2.93	2.93	2.93	2.58	2.18	1.88	1.63	1.38	1.28
定格総荷重 (t)	2.93	2.93	2.93	2.93	2.93	2.58	2.18	1.88	1.48	1.23	1.08
最小性能	1.63	1.43	1.23	1.08	1.00	0.83	0.63	0.50	0.40	0.33	0.29
強度定格総荷重 (t)	2.93	2.93	2.93	2.93	2.93	2.58	2.18	1.88	1.68	1.48	1.38

図面番号	第 10 号	図面総数	全 13 葉
工事名称	運動公園東1号線1号橋橋梁補修工事		
図名	施工要領図(その1)	縮尺(A1)	図示
製作年月	令和8年5月	所属年度	令和8年度
係員	課長	副課長	係長 係員 設計・製図 照査
鳴門市 都市建設部 土木課			

施工要領図(その2) S=1:40

運動公園東1号線1号橋

全体施工フロー



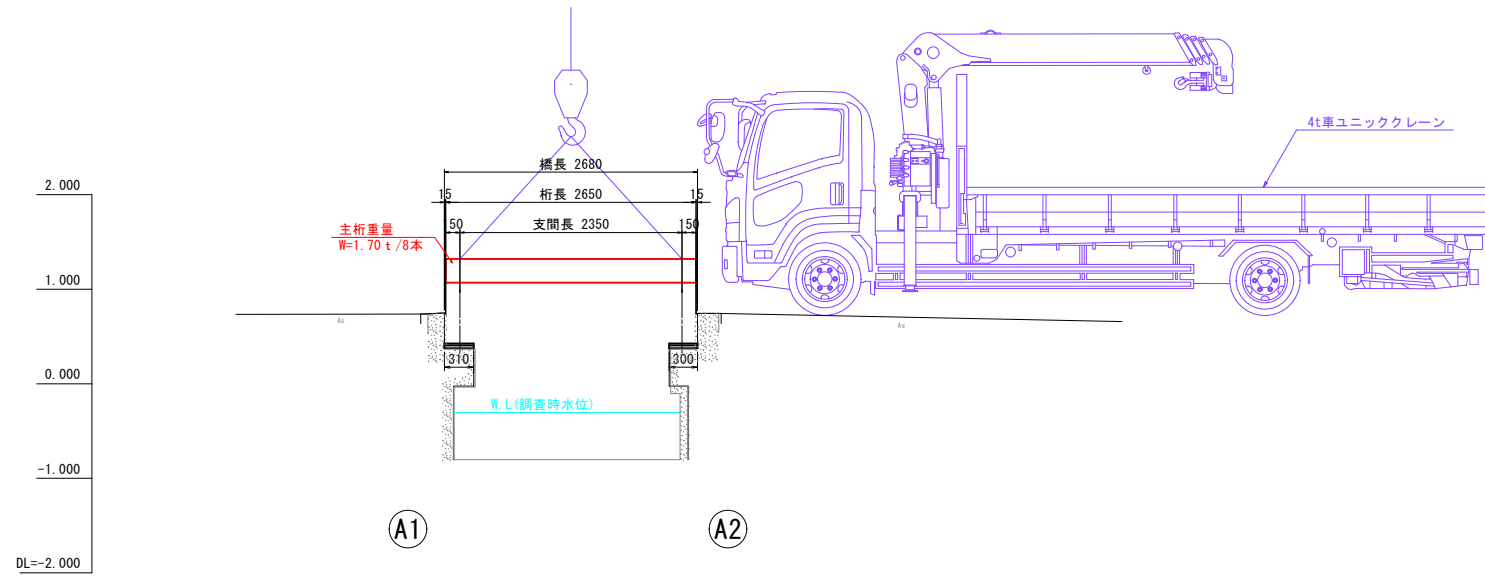
図面番号	第 11 号	図面総数	全 13 葉
工事名称	運動公園東1号線1号橋橋梁補修工事		
図名	施工要領図(その2)	縮尺(A1):	図示
製作年月	令和8年5月	所属年度	令和8年度
係員	課長	副課長	係長
			係員
		設計・製図	照査

鳴門市 都市建設部 土木課

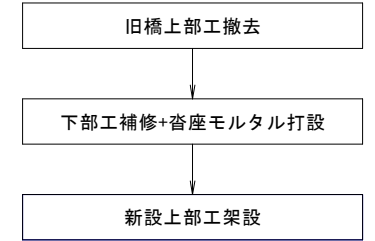
施工要領図(その3) S=1:40

運動公園東1号線1号橋

側面図



全体施工フロー



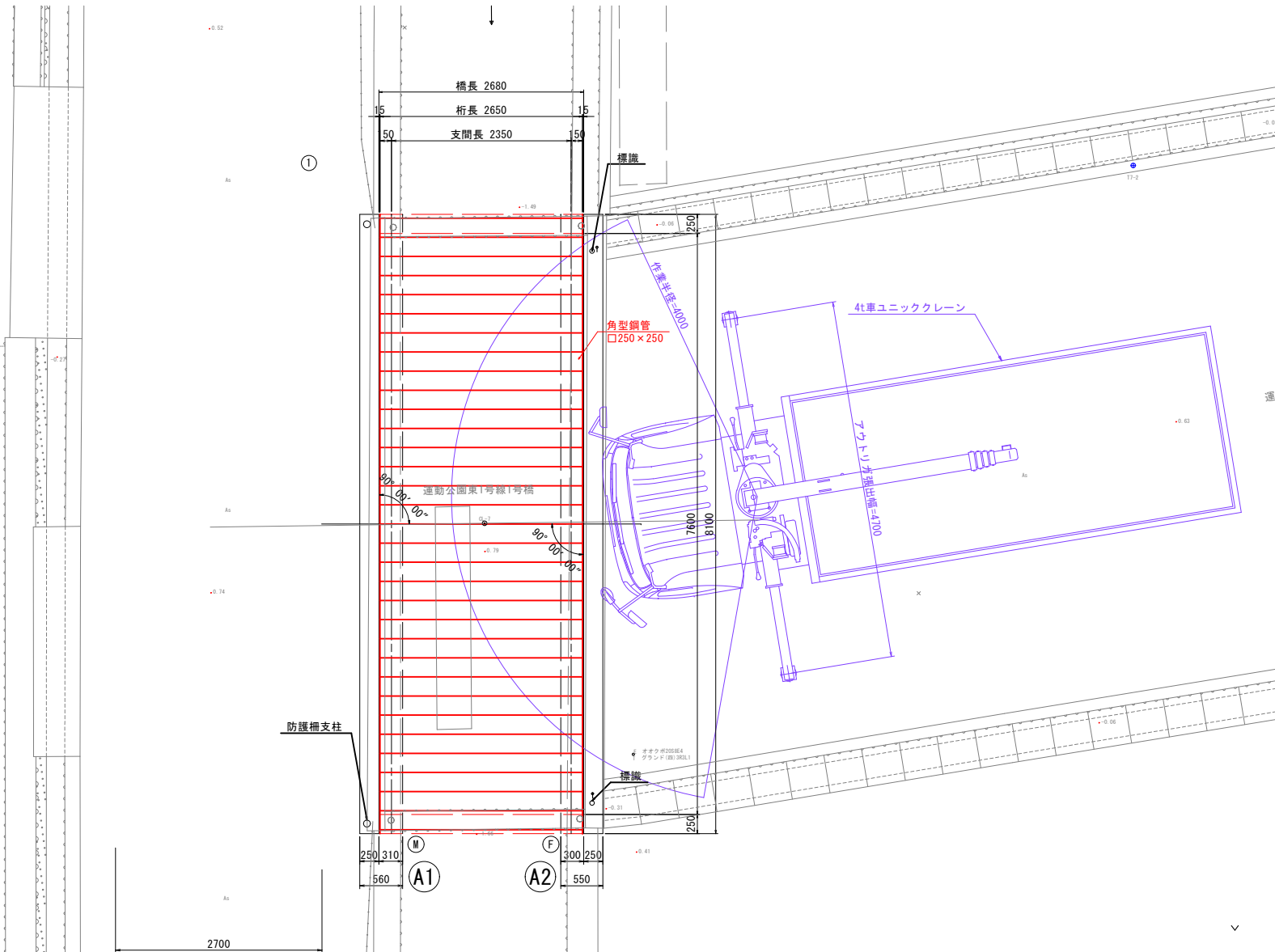
ユニッククレーン機種の決定

桁の重量 1.70t/8本 最大重量
 作業半径 R=4.0m
 架設位置 A2側 橋台背面より施工
 アウトリガ4.7m張出
 ブーム長さ 5.25m
 吊り具重量 0.03t
 $W=1.70+0.03=1.73t/組 < Ra=1.88t$ (吊能力)

4t車ユニッククレーン

作業半径(m)	2.0	2.2	2.4	2.6	2.7	3.0	3.5	4.0	4.5	5.0	5.36
空車時	2.93	2.93	2.93	2.93	2.93	2.58	2.18	1.88	1.63	1.38	1.28
定格総荷重 (t)	2.93	2.93	2.93	2.93	2.93	2.58	2.18	1.88	1.48	1.23	1.08
最小性能	1.63	1.43	1.23	1.08	1.00	0.83	0.63	0.50	0.40	0.33	0.29
強度定格総荷重 (t)	2.93	2.93	2.93	2.93	2.93	2.58	2.18	1.88	1.68	1.48	1.38

平面図

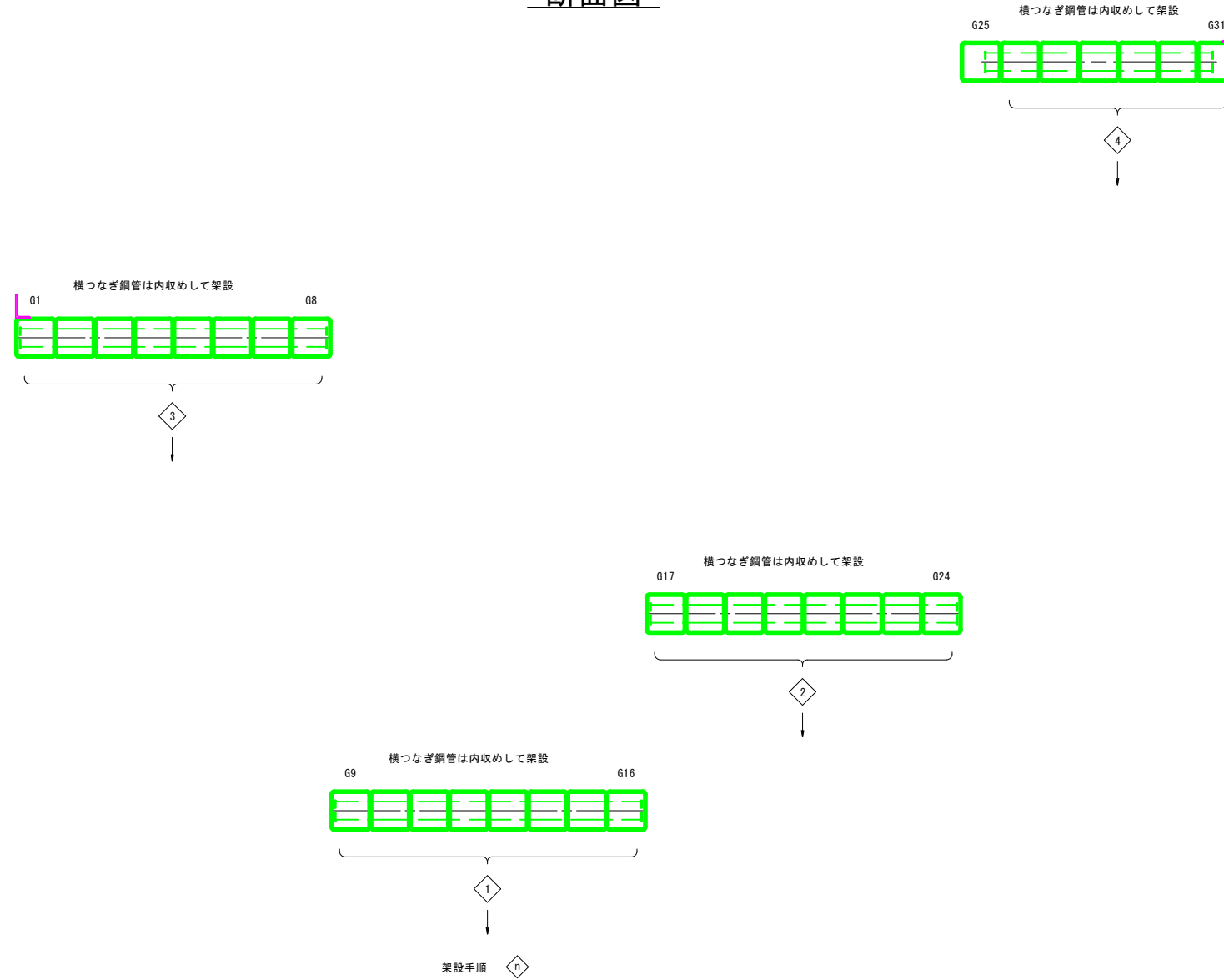


図面番号	第 12 号	図面総数	全 13 葉
工事名称	運動公園東1号線1号橋橋梁補修工事		
図名	施工要領図(その3)	縮尺(A1)	図示
製作年月	令和8年5月	所属年度	令和8年度
係員	課長	副課長	係長 係員 設計・製図 照査
鳴門市 都市建設部 土木課			

施工要領図(その4) S=1:20

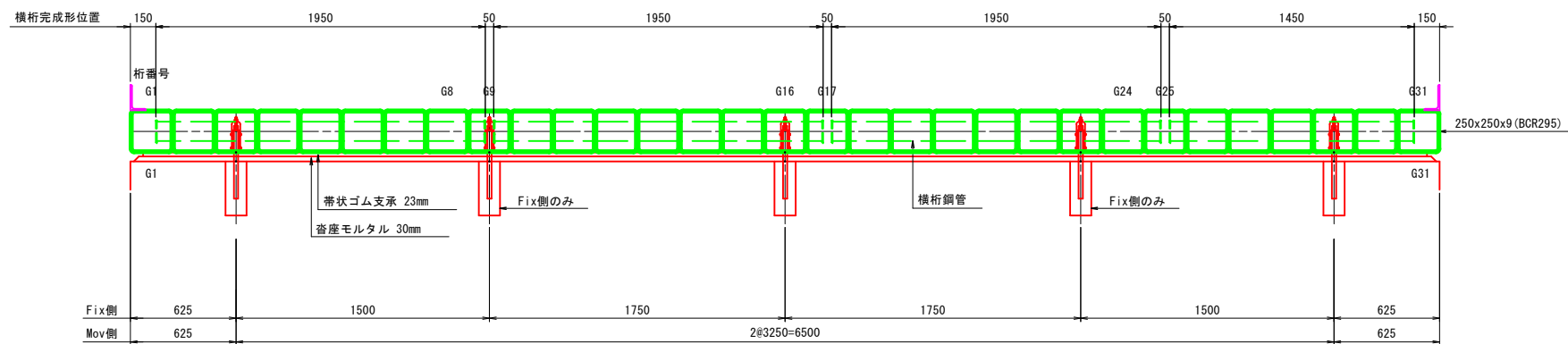
運動公園東1号線1号橋

断面図



架設手順

- 準備工
- ゴム支承を敷き並べる。
アンカーバー箱抜き穴とゴム支承穴の合致を確認する。
- クレーンを所定の位置に据えつける。
トラックにて部材を搬入し、クレーンにより吊り上げ架設する。
- 架設順序通り架設する、隣のパネルを架設後、桁と桁をボルトで締め付け桁同士の密着性を確保する。
- 最終パネル架設後、横桁を所定の位置に移動、アンカーを上から落とし横つなぎパイプと一緒に180度回転させ、高さの確定を行う。
- 全体パネル位置確認、橋台との遊間確認を行う。
- アンカーバーを所定位置に仮固定し、アンカー孔に無収縮モルタルを充填する。
この時ゴム支承内に無収縮モルタルが入らないよう注意のこと。
無収縮モルタル充填後、速やかにCRスポンジを設置する。
- コンクリート硬化後、アンカーキャップを設置する。
- 横桁位置にコンクリートを充填する。
- コンクリート硬化後、橋面工の作業を行う。



図面番号	第 13 号	図面総数	全 13 葉
工事名称	運動公園東1号線1号橋橋梁補修工事		
図名	施工要領図(その4)	縮尺(A1)	図示
製作年月	令和8年5月	所属年度	令和8年度
係員	課長	副課長	係長
			係員
		設計・製図	照査
鳴門市 都市建設部 土木課			